

県内工芸の輸送機産業等に対する製品に関する試験・研究開発

－研ぎ出し変り塗の製品開発研究（第8報）－

Study on utilization of Aomori craft technology in transportation industry
－ Developing new Tsugaru-nuri products for use in building interior materials (8th Report)－

鳴海 藍、小松 勇、濱田 圭、赤田 朝子

本報では、デザイン部の技術継承を目的に、令和1～3年度に実施した一連の塗膜評価試験をまとめた技術資料「津軽塗物性評価マニュアル」について報告する。

本資料は、令和4年度に作成した企業向け資料「津軽塗の性能的価値について－残そう伝統工芸－」をベースに、試験設計、耐久性試験（機材、設置、操作手順）、塗膜評価の方法（計測機材、操作手順）データ処理と図表作成など、試験の実施過程で記録・整理した手順の詳細や留意点等を加筆して再構成した。全体構成は、①物理的特性・視覚的性質の評価と手順、②過酷試験の方法・手順、③試験設計や治具制作における留意点とした。①②については、企業向け資料と同様にイラストや写真を用いて視覚で捉えやすいレイアウトとした。③については、試験設計における考え方やデモグラフの作成、評価するにあたって制作した治具の仕組みや使い方について記載した。デモグラフは、仮説データを視覚化したものであり、試験結果を予測する上で非常に有効な手段である。治具は、計測機器を正しく扱う、または数値を適切に計測する上で重要な装置である。特に今回のような自作治具は、試験精度の向上や作業の効率化に極めて有効であった。

今後は、一連の塗膜評価試験の追試や類似試験の設計・実施の際に本資料の活用を進めていく。

